



↑ 指江の集落内を通過する巨大なブレード

闇夜に巨大な物体出現

長島本島の丘陵地帯に建設が進められている、風力発電施設のブレード（羽）が次々に搬入されています。

町内では現在、町営1基と民間3基の風力発電施設が稼動していますが、別の民間2社が平成20年3月に1基、同10月に21基を発電開始する予定で建設中です。

今回、運び込まれるブレードは63本。ブレード1本の長さが46㍎と巨大なため、搬入作業は一般車両が通行する時間を避けて、真夜中に行われています。

ブレードは、貨物船から指江港に陸揚げされ、トラクターの荷台に積み込んで、毎床の仮置き場へ、徒歩ほどのスピードで運ばれています。

